

名古屋市立 菊里高校

8月10日(月) 5校目

タイトル

パキケトゥスの新天地 長縄優月 & 菊里高校演劇部 作

あらすじ

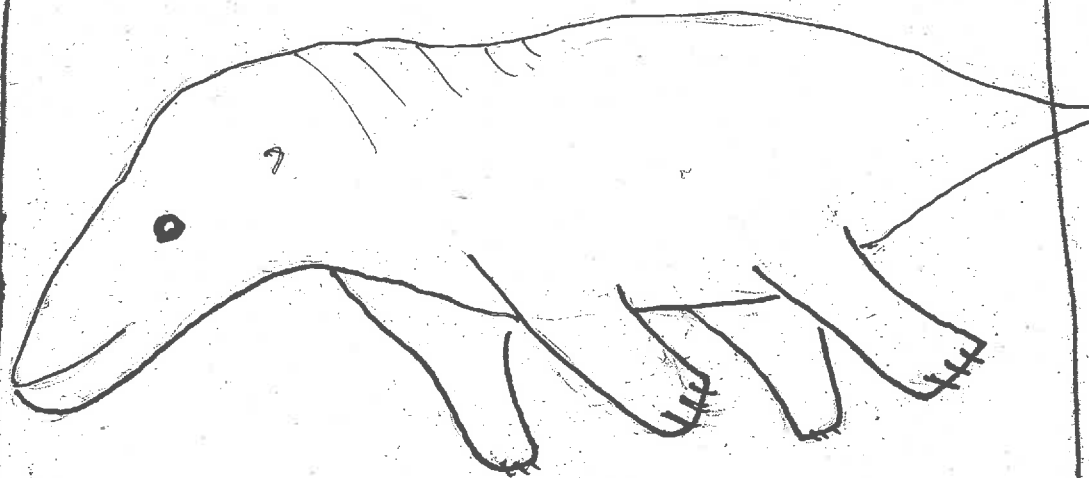
2026年、北日本国^{北日本国}住む高校生の数紀は世界に適應しようと努めては絶望し、遂に自ら食ふことをやめてしまう。そんな中、夜の街で出会った秋央から、数紀はある提案を持ちかけられる。この世界から逃げないか、と。そして、世界に適應できない「絶滅危惧種」の少年少女たちの逃亡劇が始まる。

化石は語る。

「生きる場所を自ら選択し、泥水を啜ってでも生き抜こうとする君は美しい。」

「パキケトゥスは、犬みたいな鼻と、犬みたいな耳をもっていて、それに加えて犬みたいな尻尾をもっているんだよ。」

「...それ、犬じゃない要素ある？」



「...それだけ？」

「とにかく、パキケトゥスは犬じゃなくて